

砂防だより



富士山本宮浅間大社(静岡県富士宮市)

新年度のご挨拶	2
平成26年度の行事予定	3
土砂災害防止月間	
平成26年度砂防関係当初予算	4~5
あなたのまちの安全度	6~7
警戒避難体制整備促進の取り組み	8~9
「土砂災害防止に関する絵画・作文」優秀作品の表彰	10~11
東海ブロック市町村職員土砂災害対策研修会の開催	12
わかまち(河津町・静岡市)	13
土砂災害警戒区域の指定に向けた取り組み	14
インフォメーション	14~15
募集・お知らせコーナー	16
土木事務所企画班砂防担当者の紹介	

速報 平成26年度 砂防関係当初予算

特集 あなたのまちの安全度

「土砂災害防止に関する絵画・作文」 優秀作品の表彰

新年度のご挨拶

新緑の候、会員の皆様には、益々御健勝のこととお慶び申し上げます。

また、日頃から砂防関係事業の推進に対しましては御支援御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、10月の台風26号による東京都大島町(伊豆大島)の激甚な被害を始め、全国で941件の土砂災害が発生しております。

本県においても、4月の浜松市天竜区春野町杉地先での地すべりや7月の豪雨による西伊豆町の土石流など、26件の土砂災害が発生しましたが、このうち、5箇所で既設の擁壁などの防止施設により、土砂や倒木から人家を保全する施設効果を発揮いたしました。

また、ハード対策とともに、土砂災害警戒区域等の指定などのソフト対策を推進する、総合的な土砂災害対策を進めております。昨年度末で指定の対象となる15,193箇所の土砂災害危険箇所のうち、9,913箇所約65%の指定を完了しました。今後も、土砂災害から人的被害を防ぐため、区域指定を推進するとともに、効果的な住民の警戒避難行動が行えるよう、市町の避難勧告の発令や住民の自主避難などを支援する「土砂災害警戒情報」の発表や「警戒情報を捕捉する情報」、危険箇所図等のインターネットによる公表、県民への防災知識の普及などに取り組んでまいります。

県では、土砂災害から県民の生命と財産を守る、安全で安心して暮らせる社会を実現するため、総合計画後期アクションプラン(平成26~29年度)に基づき、「土砂災害による死者数毎年0人」を目指して、対策を鋭意進めてまいります。

平成26年4月1日

全国治水砂防協会静岡県支部 常任幹事

後藤 森平

静岡県交通基盤部河川砂防局砂防課

TEL 054-221-
FAX 054-221-3564

河川砂防局技監

後藤 森平

☎3040

砂防課長

八木 正道

☎3382

課長代理兼土砂災害対策班長

村松 武馬

☎3382

- 課長の代理
- 土砂災害対策班の総括

砂防班

傾斜地保全班

土砂災害対策班

班長代理 西川 茂 ●砂防班の総括 ●直轄砂防事業の調整	班 長 杉本 敏彦 ●傾斜地保全班の総括
主 任 鈴木 隆明 ●補助砂防事業 ●砂防技術基準	主 査 井上 泰孝 ●地すべり事業(国交) ●地すべり事業(農地) ●災関地すべり事業
技 師 河村 健春 ●災関砂防事業 ●演習場周辺地区障害防止事業 ●県単砂防事業	主 査 和田 直樹 ●地すべり事業(林野) ●県単急傾斜地事業 ●県費補助事業

主 査 小沼 佳記 ●避難体制整備促進 ●砂防・地すべり地の指定・指定地内行為	主 査 三谷 真史 ●土砂災害防止法 ●基礎調査
技 師 小松 直矢 ●情報基盤整備事業 ●急傾斜地の指定	技 師 清 憲三 ●土砂災害防止月間等 ●土砂災害防止講習会
主 査 廣瀬 敏雅 ●補助急傾斜地事業 ●災関急傾斜地事業 ●急傾斜地崩壊対策の技術基準	砂防協会 樋口 奈保子 ●砂防協会関係の事務・経理

※指定地管理及び砂利・碎石関係事務等については、「河川砂防管理課」で担当します。

河川砂防管理課 ☎3028 (課長)松本忠智

河川砂防管理班 ☎3034 (班長)鍋田航平 (主査)伊藤達也 (主事)長谷川和也

※水防に関すること、交通基盤部内の防災対策の総合調整及び災害復旧事業の総括に関することについては、同室内にある「土木防災課」で担当します。

土木防災課 ☎3033

【平成26年度の行事予定】

月 日	時刻	活 動	会場等
4月 8日(火)	11:00	全国治水砂防協会静岡県支部会計監査	静岡グランドホテル中島屋(静岡市)
5月 28日(水)	11:00	(一社)全国治水砂防協会平成26年度(第78回)通常総会	砂防会館(東京都)
// 29日(木)	14:15	全国治水砂防協会静岡県支部役員会	静岡グランドホテル中島屋(静岡市)
// 29日(木)	15:00	全国治水砂防協会静岡県支部平成26年度(第69回)通常総会	静岡グランドホテル中島屋(静岡市)
6月 1日(日)		土砂災害に対する全国統一防災訓練	静岡県内各地
// 1日(日)~7日(土)		がけ崩れ防災週間	静岡県内各地
// 1日(日)~30日(月)		土砂災害防止月間	静岡県内各地
// 21日(土)		みんなで防ごう土砂災害(土砂災害防止説明会)の開催	青葉シンボルロード(静岡市)
8月28日(木)~30日(土)		市町長等砂防事業県外視察	北海道
11月 上旬		市町等砂防担当職員研修	未 定
// 中旬		東海4県協会支部長・砂防課長合同会議	岐阜県
// 18日(火)	11:00	全国治水砂防促進大会	砂防会館(東京都)
2月 中旬		砂防および地すべり防止講習会	砂防会館(東京都)

※ 太字の行事について、会員の積極的なご参加をお願い申し上げます。

土砂災害防止月間 がけ崩れ防災週間

6月1日▶30日

6月1日▶7日

土石流、地すべり、がけ崩れなどの土砂災害は、主に雨などが原因となって発生します。梅雨時は雨が多く土砂災害が発生しやすい時期です。近年は異常な集中豪雨による被害が増えていますので、雨が降りだしたら気象情報などに注意しましょう。

毎年、6月を土砂災害防止月間として、県民が土砂災害防止について理解と関心を深めるため、国、県、市町などの関係機関が連携し、防災パトロール、啓発チラシの配布、講習会を実施しています。

行 事 予 定

6月 1日	土砂災害に対する全国統一防災訓練
6月1~30日	急傾斜地パトロール(重点実施)
6月 21日	みんなで防ごう土砂災害(土砂災害防止説明会)の開催(青葉シンボルロード)
6月1日~ 9月15日	「土砂災害防止に関する絵画・作文」の 作品募集



みんなで防ごう土砂災害(土砂災害防止説明会)の様子

速報

平成26年度

当初予算

砂防関係
予算

98億3,264万円余

平成26年度当初予算が平成26年2月県議会定例会において可決され、静岡県一般会計の歳出総額は1兆1,802億円で、前年度に比べ411億円の増、対前年度比103.6%でした。

砂防関係事業の予算総額は98億3,264万円で、前年度より約23,596万円の増、対前年度比102.5%となりました。主な内訳は次のとおりです。

1 一般公共事業

67億200万円(前年度当初比103.3%)

国の補助や交付金を得て、溪流、急傾斜地等に砂防施設等の整備を行うとともに、「土砂災害防止法」に基づく区域指定のための基礎調査等を実施します。

2 県単独事業

19億7,400万円(前年度当初比100.0%)

国庫補助事業や交付金事業に採択されない箇所について、砂防、地すべり防止、急傾斜地崩壊防止工事を行うとともに、局地豪雨緊急対策、緊急輸送路関連土砂災害対策等を実施します。

3 国直轄事業費負担金

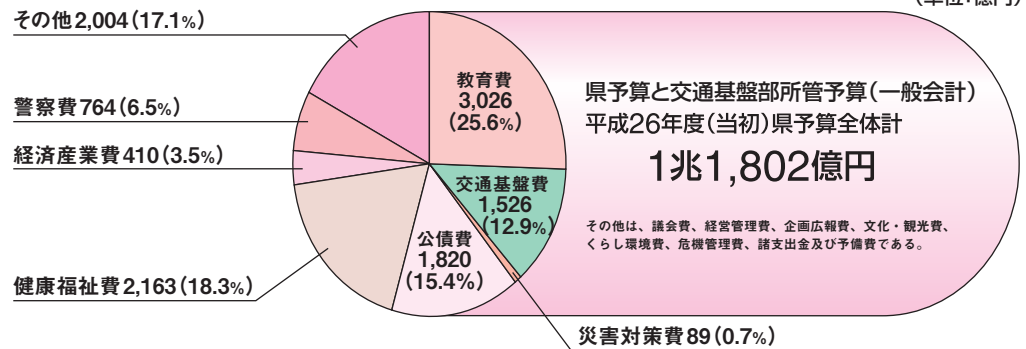
11億1,100万円(前年度当初比100.0%)

富士山、安倍川、狩野川において、国土交通省が行う直轄砂防事業及び、由比地区直轄地すべり対策事業に対する県負担金です。

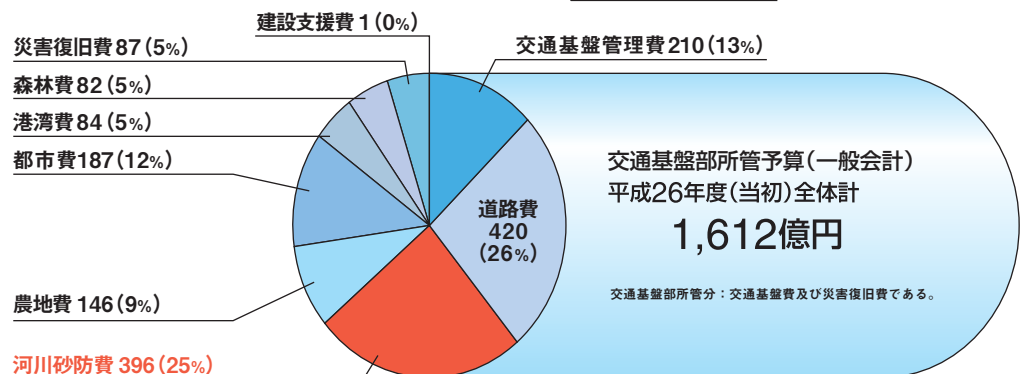
静岡県の砂防関係予算

(単位:億円)

● 県予算と交通基盤部予算 (平成26年度当初)



● 交通基盤部所管別予算 (平成26年度当初)

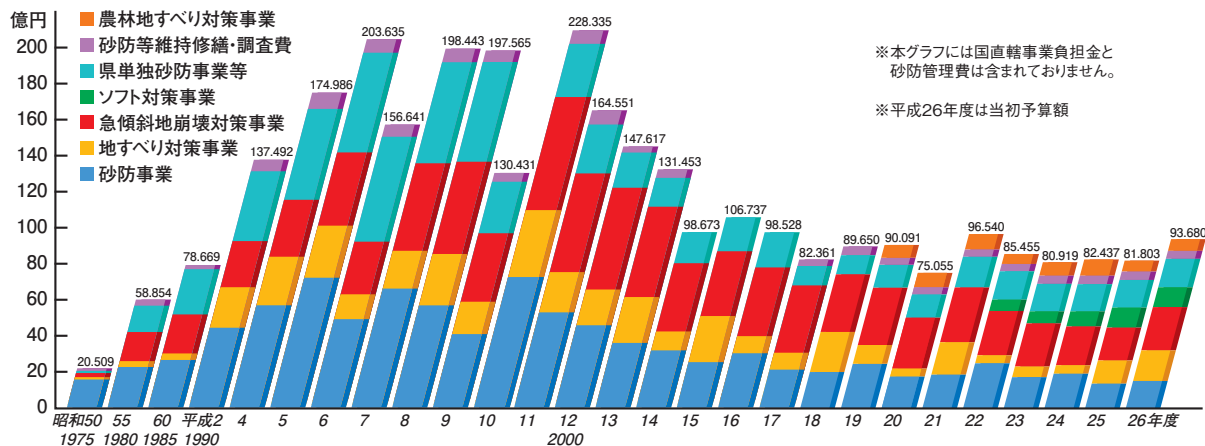


(単位:千円、%)

平成26年度 砂防関係事業等予算額調書

事業名	平成26年度			平成25年度		
	当初 A	当初 B	最終 C	A/B	A/C	
砂防管理費(第1目)計	2,635	2,676	2,623	98.5	100.5	
県単独	75,000	75,000	75,000	100.0	100.0	
急傾斜地崩壊対策事業	375,000	375,000	375,000	100.0	100.0	
局地豪雨緊急対策事業(土砂災害)	450,000	450,000	450,000	100.0	100.0	
河川改良費(第2目)計	450,000	450,000	450,000	100.0	100.0	
津波対策緊急整備事業費	43,000	18,000	18,000	238.9	238.9	
海岸費(第3目)計	43,000	18,000	18,000	238.9	238.9	
一般公共事業	砂防事業	539,700	532,600	375,500	101.3	143.7
	火山砂防事業	504,000	433,600	395,000	116.2	127.6
	砂防事業計	1,043,700	966,200	770,500	108.0	135.5
	地すべり対策	381,150	346,500	218,053	110.0	174.8
	地すべり対策(住宅特治)				皆減	皆減
	地すべり対策事業計	381,150	346,500	218,053	110.0	174.8
	急傾斜	2,179,700	2,134,750	1,767,895	102.1	123.3
	急傾斜地崩壊対策				皆減	皆減
	急傾斜地崩壊対策(住宅特治)				皆減	皆減
	急傾斜地崩壊対策事業計	2,179,700	2,134,750	1,767,895	102.1	123.3
	総流防	31,500	8,400	10,000	皆増	315.0
	緊急改築(砂防)	8,400	8,400	8,400	100.0	100.0
	情報基盤緊急整備	1,086,750	1,086,750	1,099,350	100.0	98.9
	基礎調査	1,126,650	1,095,150	1,117,750	102.9	100.8
	総合流域防災事業計	400	400	400	100.0	100.0
	効果促進事業(ソフト)	76,400	56,000	143,100	136.4	53.4
	効果促進事業(調査)	4,808,000	4,599,000	4,017,698	104.5	119.7
	防災・安全交付金計	74,000	72,000	67,678	102.8	109.3
	東富士演習場周辺地区障害防止対策事業	84,000			皆増	皆増
	特定緊急砂防	252,000			皆増	皆増
	特定緊急地すべり対策	336,000			皆増	皆増
	通常国庫補助事業計	257,000	341,000	461,028	75.4	55.7
	災害関連緊急砂防	1,054,000	1,306,000	1,033,871	80.7	101.9
	災害関連緊急地すべり対策	173,000	173,000	0	100.0	皆増
	災害関連緊急急傾斜地崩壊対策	1,484,000	1,820,000	1,494,899	81.5	99.3
災害関連緊急事業計	1,458,700	1,379,200	1,299,206	105.8	112.3	
砂防	1,687,150	1,652,500	1,251,924	102.1	134.8	
地すべり対策	2,352,700	2,307,750	1,767,895	101.9	133.1	
急傾斜地崩壊対策	31,500		10,000	皆増	315.0	
総流防(砂防)	1,095,150	1,095,150	1,107,750	100.0	98.9	
総流防(ソフト)	400	400	400	100.0	100.0	
効果促進(ソフト)	76,400	56,000	143,100	136.4	53.4	
効果促進(調査)	6,702,000	6,491,000	5,580,275	103.3	120.1	
一般公共事業計	422,000	435,800	429,300	96.8	98.3	
通常砂防	59,600	73,200	63,754	81.4	93.5	
地すべり対策	510,400	503,000	497,163	101.5	102.7	
急傾斜地崩壊対策	20,000		6,596	皆増	303.2	
砂防	10,000			皆増	皆増	
地すべり対策		10,000	3,404	皆減	皆減	
急傾斜地崩壊対策	30,000	10,000	10,000	300.0	300.0	
災害緊急整備				皆減	皆減	
砂防	10,000	10,000	10,000	100.0	100.0	
地すべり対策	50,000	50,000	50,000	100.0	100.0	
急傾斜地崩壊対策	60,000	60,000	60,000	100.0	100.0	
緊急輸送路関連土砂災害対策	253,000	253,000	265,283	100.0	95.4	
砂防等維持修繕	118,000	118,000	127,500	100.0	92.5	
砂防等調査	11,000	11,000	11,000	100.0	100.0	
砂防等台帳整備	1,464,000	1,464,000	1,464,000	100.0	100.0	
生活環境整備事業計	50,000	50,000	50,000	100.0	100.0	
施設整備	10,000	10,000	10,000	100.0	100.0	
指定促進対策	60,000	60,000	60,000	100.0	100.0	
急傾斜地崩壊対策事業費補助	1,524,000	1,524,000	1,524,000	100.0	100.0	
砂防県単事業計	422,000	435,800	435,896	96.8	96.8	
通常砂防	69,600	83,200	73,754	83.7	94.4	
地すべり対策	620,400	623,000	610,567	99.6	101.6	
急傾斜地崩壊対策	382,000	382,000	403,783	100.0	94.6	
その他(維持修繕・調査)	1,524,000	1,524,000	1,524,000	100.0	100.0	
県単独事業計	8,226,000	8,015,000	7,104,275	102.6	115.8	
砂防費(第4目)計	212,000	208,000	258,000	101.9	82.2	
一般公共	23,000	23,000		100.0	皆減	
農地地すべり(災害関連分)	220,000	219,000	219,000	100.5	100.5	
治山地すべり	65,000	65,000		100.0	皆減	
農林地すべり一般公共事業計	520,000	515,000	477,000	101.0	109.0	
県単独	58,000	59,000	59,000	98.3	98.3	
農地地すべり	71,000	72,000	72,000	98.6	98.6	
農地地すべり	129,000	131,000	131,000	98.5	98.5	
農林地すべり	293,000	290,000	317,000	101.0	92.4	
治山地すべり	356,000	356,000	291,000	100.0	122.3	
農林地すべり対策費(第5目)計	649,000	646,000	608,000	100.5	106.7	
国直轄事業費負担金(第6目)計	1,111,000	1,111,000	1,857,691	100.0	59.8	
河川砂防費(砂防)(第4項)	10,481,635	10,242,676	10,040,589	102.3	104.4	
(砂防関係事業)	9,832,635	9,596,676	9,432,589	102.5	104.2	

砂防関係事業費の推移



あなたのまちの安全度

静岡県は、山地が多く、地形的に急峻で、脆い地質が全県的に分布し、15,193箇所もの土砂災害危険箇所があります。

県では、土砂災害から県民の生命・身体を守るため、砂防えん堤・擁壁などの土砂災害防止施設の整備(ハード対策)とともに、住民への危険箇所の周知(ハザードマップの配布、危険箇所表示板の設置)、土砂災害警戒情報伝達機器の整備などのソフト対策を実施しています。

市町別土砂災害危険箇所数とソフト対策の実施状況

(平成26年3月31日 現在)

所管 土木	市町名	土砂災害危険箇所数				土砂災害警戒区域指定状況				警戒区域 ハザード マップ	危険箇所 表示板 設置数
		土石流	地すべり	急傾斜地	計	土石流	地すべり	急傾斜地	計		
下田	下田市	235		311	546	235		315	550	6	238
	東伊豆町	23	6	56	85	22		55	77		57
	河津町	92	5	112	209	26		21	47		110
	南伊豆町	252	1	245	498	57		77	134	97	215
	松崎町	92	1	128	221	94		127	221		144
	西伊豆町	86	1	116	203	87		124	211	211	136
	小計	780	14	968	1,762	521		719	1,240	314	900
熱海	熱海市	98	1	167	266	88		127	215	24	202
	伊東市	105	2	216	323	73		136	209	178	169
	小計	203	3	383	589	161		263	424	202	371
沼津	沼津市	116		169	285	104		139	243	104	180
	三島市	23		82	105			30	30	30	55
	御殿場市	30		7	37	30		7	37		17
	裾野市	44		38	82	23		19	42		54
	伊豆市	480	8	371	859	285		190	475		627
	伊豆の国市	103	1	198	302	100		186	286	286	135
	函南町	32	1	74	107	2		9	11		46
	清水町	2		16	18	2		5	7	7	7
	長泉町	2		29	31			3	3	3	13
	小山町	47		61	108	47		57	104		71
小計	879	10	1,045	1,934	593		645	1,238	430	1,205	
富士	富士宮市	107	1	275	383	71		213	284	233	186
	富士市	57	1	168	226	33		123	156	116	84
	小計	164	2	443	609	104		336	440	349	270
静岡	静岡市	919	11	1,783	2,713	537		1,017	1,554	177	1,366
	小計	919	11	1,783	2,713	537		1,017	1,554	177	1,366
島田	島田市	198	26	493	717	108		249	357	206	379
	焼津市	24	1	48	73	25		48	73	73	57
	藤枝市	205	27	446	678	135		265	400	358	325
	牧之原市	44	2	320	366	15		213	228	156	66
	川根本町	42		143	185	42		131	173	173	184
	吉田町			6	6			6	6		2
	小計	513	56	1,456	2,025	325		912	1,237	966	1,013
袋井	磐田市	66		211	277	59		171	230	148	44
	掛川市	134	11	881	1,026	105		582	687	587	149
	袋井市	32		220	252	29		173	202	70	45
	菊川市	44		423	467	31		336	367	162	98
	御前崎市	12		324	336	10		244	254	101	26
	森町	59	5	364	428	8		56	64	3	54
	小計	347	16	2,423	2,786	242		1,562	1,804	1,071	416
浜松	天竜区	292	66	898	1,256	282		853	1,135		567
	天竜区以外	148	5	1,183	1,336	112		598	710		278
	浜松市計	440	71	2,081	2,592	394		1,451	1,845	808	845
	湖西市	2		181	183			131	131	120	50
	小計	442	71	2,262	2,775	394		1,582	1,976	928	895
合計		4,247	183	10,763	15,193	2,877		7,036	9,913	4,437	6,436

■警戒区域ハザードマップ：土砂災害防止法7条3項に定められた、市町村が作成するハザードマップ



静岡県の土砂災害情報は、
<http://sabougis.pref.shizuoka.jp/>
 でご覧になれます。

に、「土砂災害防止法」に基づく土砂災害警戒区域等の区域指
 注対策を合わせた、総合的な土砂災害対策を進めています。

市町別ハード対策(土砂災害防止施設の整備)の実施状況

(平成26年3月31日 現在)

所管 土木	市町名	土石流			地すべり			急傾斜地			合 計		
		要対策 渓流数	概 成 渓流数	整備率 (%)	要対策 箇所数	概 成 箇所数	整備率 (%)	要対策 箇所数	概 成 箇所数	整備率 (%)	要対策 箇所数	概 成 箇所数	整備率 (%)
下田	下田市	94	16	17.0				164	29	17.7	258	45	17.4
	東伊豆町	16	8	50.0	6	1	16.7	38	7	18.4	60	16	26.7
	河津町	53	14	26.4	5	2	40.0	44	13	29.5	102	29	28.4
	南伊豆町	119	10	8.4	1	1	100.0	131	39	29.8	251	50	19.9
	松崎町	71	7	9.9	1	1	100.0	77	22	28.6	149	30	20.1
	西伊豆町	64	17	26.6	1			67	18	26.9	132	35	26.5
	小 計	417	72	17.3	14	5	35.7	521	128	24.6	952	205	21.5
熱海	熱海市	91	17	18.7	1			95	14	14.7	187	31	16.6
	伊東市	82	23	28.0	2	1	50.0	110	25	22.7	194	49	25.3
	小 計	173	40	23.1	3	1	33.3	205	39	19.0	381	80	21.0
沼津	沼津市	96	20	20.8				128	70	54.7	224	90	40.2
	三島市	15	2	13.3				39	16	41.0	54	18	33.3
	御殿場市	8	6	75.0				3			11	6	54.5
	裾野市	23	10	43.5				24	6	25.0	47	16	34.0
	伊豆市	328	62	18.9	8	1	12.5	148	40	27.0	484	103	21.3
	伊豆の国市	74	3	4.1	1			82	31	37.8	157	34	21.7
	函南町	14	4	28.6	1			32	7	21.9	47	11	23.4
	清水町	2	1	50.0				11	1	9.1	13	2	15.4
	長泉町	1						18	3	16.7	19	3	15.8
	小山町	35	10	28.6				37	21	56.8	72	31	43.1
小 計	596	118	19.8	10	1	10.0	522	195	37.4	1,128	314	27.8	
富士	富士宮市	66	16	24.2	1			81	21	25.9	148	37	25.0
	富士市	48	16	33.3	1	1	100.0	55	30	54.5	104	47	45.2
	小 計	114	32	28.1	2	1	50.0	136	51	37.5	252	84	33.3
静岡	静岡市	540	124	23.0	11	3	27.3	654	293	44.8	1,205	420	34.9
	小 計	540	124	23.0	11	3	27.3	654	293	44.8	1,205	420	34.9
島田	島田市	83	17	20.5	26	7	26.9	132	69	52.3	241	93	38.6
	焼津市	13	7	53.8	1	1	100.0	25	20	80.0	39	28	71.8
	藤枝市	69	27	39.1	27	7	25.9	117	60	51.3	213	94	44.1
	川根本町	23	4	17.4				33	12	36.4	56	16	28.6
	牧之原市	13	11	84.6	2	3	150.0	57	24	42.1	72	38	52.8
	吉田町							3	2	66.7	3	2	66.7
	小 計	201	66	32.8	56	18	32.1	367	187	51.0	624	271	43.4
袋井	御前崎市	1						33	18	54.5	34	18	52.9
	磐田市	20	1	5.0				33	3	9.1	53	4	7.5
	掛川市	39	1	2.6	11	7	63.6	102	23	22.5	152	31	20.4
	袋井市	7						30	10	33.3	37	10	27.0
	菊川市	9	2	22.2		1		84	33	39.3	93	36	38.7
	森町	23	6	26.1	5	1	20.0	26	3	11.5	54	10	18.5
	小 計	99	10	10.1	16	9	56.3	308	90	29.2	423	109	25.8
浜松	天竜区	128	48	37.5	66	22	33.3	306	75	24.5	500	145	29.0
	天竜区以外	43	9	20.9	5	4	80.0	281	63	22.4	329	76	23.1
	浜松市計	171	57	33.3	71	26	36.6	587	138	23.5	829	221	26.7
	湖西市							54	9	16.7	54	9	16.7
	小 計	171	57	33.3	71	26	36.6	641	147	22.9	883	230	26.0
合 計		2,311	519	22.5	183	64	35.0	3,354	1,130	33.7	5,848	1,713	29.3

■土石流危険渓流はH15公表による危険渓流 I ■急傾斜地崩壊危険箇所はH15公表による危険箇所 I

土砂災害に対する

警戒避難体制整備促進の取り組み

1 土砂災害警戒区域等の指定

土砂災害防止法に基づき、県では土砂災害警戒区域の指定を行っています。平成25年度は1,644区域を指定し、累計で9,913区域となっています（P6「あなたのまちの安全度」参照）。

指定箇所について、市町は、警戒区域毎の警戒避難体制に関する事項、災害時要援護者施設への情報伝達方法などを地域防災計画に定め、ハザードマップを作成・配布することになっており、平成25年度末までに4,437箇所44.8%が完了しています。

県は、ハザードマップの作成事例や「土砂災害警戒区域における警戒避難体制整備ガイドライン」を配布するなど、市町を支援しています。

指定区域は、砂防課・関係土木事務所・関係市町で縦覧するほか、砂防課ホームページで公開しています。

警戒区域の指定と対応状況

(平成26年3月31日現在)

市町名	土砂災害警戒区域	ハザードマップ配布	市町名	土砂災害警戒区域	ハザードマップ配布
下田市	550	6	富士宮市	284	233
東伊豆町	77		富士市	156	116
河津町	47		静岡市	1,554	177
南伊豆町	134	97	島田市	357	206
松崎町	221		焼津市	73	73
西伊豆町	211	211	藤枝市	400	358
熱海市	215	24	牧之原市	228	156
伊東市	209	178	吉田町	6	
沼津市	243	104	川根本町	173	173
三島市	30	30	磐田市	230	148
御殿場市	37		掛川市	687	587
裾野市	42		袋井市	202	70
伊豆市	475		菊川市	367	162
伊豆の国市	286	286	御前崎市	254	101
函南町	11		森町	64	3
清水町	7	7	浜松市	1,845	808
長泉町	3	3	湖西市	131	120
小山町	104		35市町	9,913	4,437

2 全国統一土砂災害防災訓練の実施：平成26年6月1日(日)

集中豪雨による土砂災害が発生した場合に備え、警戒避難体制の確認と防災意識の高揚を目的に、県内35市町において実施します（平成25年度は住民や行政関係者など2,842人が訓練に参加）。

訓練は、土砂災害警戒情報の発表を受け、住民が避難所に避難するなど、実践的な訓練を主体に構成され、災害時要援護者に対する支援、土砂災害防止講習会なども実施します。

3 土砂災害防止講習会等の実施

土砂災害による被災を免れるには、行政からの防災情報に現地の実況を加え、住民の「適切な判断と行動」が必要です。このため、土砂災害についての知見をいざという時に活用していただくよう、県では土砂災害防止講習会や小中学校への出前講座などを行っています。また、土砂災害防止講習会の受講者の中から、土砂災害危険箇所のある地区にお住まいの方を「防災連絡員」として登録し、平常時の監視体制の強化や警戒避難体制の支援を図っています。

県職員が説明に伺いますので、市町で実施する防災講座等に積極的に御活用してください。

平成25年度 土砂災害防止講習会の実績

開催日	主体	人数	開催日	主体	人数	開催日	主体	人数	
5月26日	松崎町	24人	6月2日	清水町	45人	6月2日	森町	102人	
6月1日	掛川市	69人		函南町	107人	6月9日	熱海市	60人	
6月2日	下田市	77人		島田市	75人	6月13日	藤枝市	98人	
	東伊豆町	155人		藤枝市	114人	6月23日	浜松市	126人	
	西伊豆町	163人		焼津市	177人	12月1日	函南町	175人	
	伊東市	83人		川根本町	46人		下田市	102人	
	御殿場市	237人		牧之原市	25人	22回	19市町		2,248人
	裾野市	51人		袋井市	137人				

4

活用しよう!! 「土砂災害警戒情報」で「早めの避難」

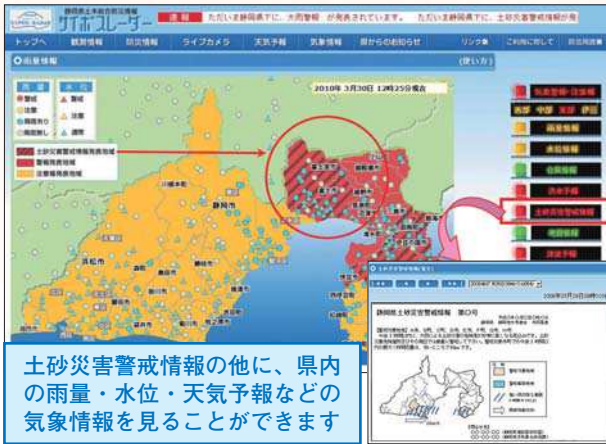
●土砂災害警戒情報を入手する!

土砂災害警戒情報は地デジ、パソコン、携帯電話等にて入手することができます。土砂災害から命を守るためには、刻々と変化する気象情報をいち早く入手し、最新の情報をもとに行動を起こすことが重要です。

パソコンから入手!!

※サイポスレーダー (<http://sipos.shizuoka2.jp/>)

・土砂災害警戒情報の発表文をみることができます。

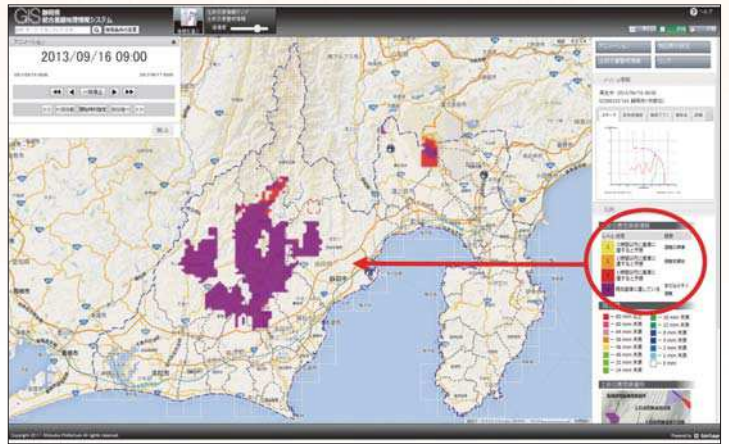


土砂災害警戒情報の他に、県内の雨量・水位・天気予報などの気象情報を見ることができます

※土砂災害警戒情報補足システム

(<http://www.gis.pref.shizuoka.jp/?mp=9004-1&>)

・県内市町の土砂災害危険度をみるすることができます。



携帯電話から入手!!!

※サイポスレーダー携帯版

(<http://sipos.shizuoka2.jp/m/>)

・土砂災害警戒情報の発表文をみるすることができます。

下記コードを携帯電話で読み取ってください。



土砂災害警戒情報
8/10(月) 15:45
静岡県土砂災害警戒情報 第6号
平成21年8月10日
静岡県静岡地方気象台共同発表

【警戒対象地域】
伊豆市
【警戒解除地域】
焼津市、牧之原市

【警戒文】
《一部警戒解除》降り続いた大雨のため引き続き土砂災害の危険度が非常に高くなっています。土砂災害危険箇所及びその周辺では警戒を強めてください。

静岡県土木総合防災情報

SIPOS-RADAR

発表中の警戒情報

- ★気象警報・注意報
- ☆雨量情報
- ★水位情報
- ☆台風情報
- ★洪水予報

★:警戒レベル
☆:注意レベル

メインメニュー

- ①注意報警報
- ②雨量情報
- ③水位情報
- ④台風情報
- ⑤ポイント予報
- ⑥メッシュ降雨予測
- ⑦河川流域平均雨量予測
- ⑧これまでの雨警の様子
- ⑨これからの雨警の様子
- ⑩洪水予報
- ⑪土砂災害警戒情報
- ⑫地震情報

※土砂災害警戒判定メッシュ情報(気象庁HP)

(<http://www.jma.go.jp/jp/doshamesh/>)

・気象庁ホームページでも、県内の土砂災害警戒情報の判定メッシュ情報をみるすることができます。

☆土砂災害警戒情報(地震時等の暫定基準の変更)

・静岡県では、震度5強以上の地震が発生した際に、該当市町の土砂災害警戒情報の発表基準を引下げて運用します。平成26年2月20日より暫定(引下げ)割合について、以下のように改正されましたのでご承知おきください。

土砂災害警戒情報 暫定割合

	震度5強の地域	震度6弱以上の地域
暫定割合	8割	7割

5 手作りハザードマップで防災力向上を図ろう!

災害が発生する前に地域全体で避難することが非常に重要です。

このため、地域全体での防災力を向上させるには、「手作りハザードマップ」作成が非常に有効な方法となります。

みなさんも、地域全体で危険な場所等を話し合い、「避難場所」や「避難路」を確認し、地域独自の「手作りハザードマップ」を作成してみてください。



手作りHM作成状況(藤枝市)

平成25年度

「土砂災害防止に関する絵画・作文」 優秀作品の表彰

平成25年度に、土砂災害防止月間の一環である「土砂災害防止に関する絵画・作文」を募集したところ、29件の応募があり、審査の結果、6作品が入賞しました。

3月25日県庁で行われた表彰式では、ご家族の方々が見守る中、長島交通基盤部長から入賞された皆さんに表彰状が授与されました。



受賞者のみなさん



表彰状の授与(渡邊聖矢さん)

■栄えある受賞者のみなさん

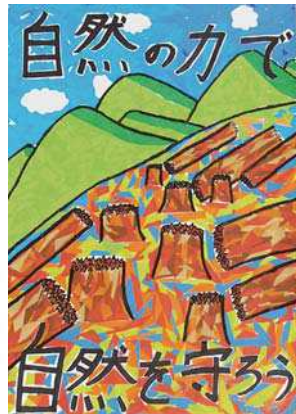
賞	部門	学校名	学年	氏名
静岡県知事賞	絵画	静岡市立長田東小学校	5年	渡邊 聖矢
静岡県交通基盤部長賞	絵画	富士宮市立富士宮第三中学校	1年	遠藤 大我
全国治水砂防協会 静岡県支部長賞	絵画	浜松市立有玉小学校	6年	笠原 鈴乃
	絵画	富士宮市立富士宮第三中学校	2年	清水梨々花
	絵画	湖西市立新居中学校	2年	吉永 悠斗
	作文	富士市立岩松中学校	3年	高橋 新

※学校・学年は応募当時のものです。

(敬称略)

静岡県知事賞

静岡市立長田東小学校
5年
渡邊 聖矢 さん



静岡県交通基盤部長賞

富士宮市立富士宮第三中学校
1年 遠藤 大我 さん



全国治水砂防協会静岡県支部長賞

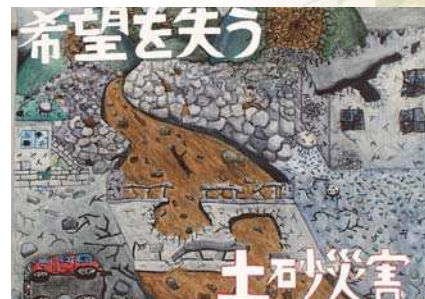
浜松市立有玉小学校
6年 笠原 鈴乃さん



富士宮市立富士宮第三中学校
2年 清水 梨々花さん



湖西市立新居中学校
2年 吉永 悠斗さん



「土砂災害について」

富士市立岩松中学校 3年 高橋 新さん

最近、爆弾低気圧・ゲリラ豪雨・竜巻などという言葉がよく聞かれるようになりました。地球温暖化のせいなのか。年々このような自然災害が増えているように思います。そして、二年前に東北地方の大地震が起きた後より、「地盤が緩んでいるので、土砂災害に警戒するように。」という言葉もよくきかれるようになったと感じています。以前にも、僕達の住んでいる地域でも大雨が降り、市から「土砂災害危険区域の方は、土砂災害に警戒して下さい。」という放送が流れたのも記憶に新しいです。しかし、どのように警戒したら良いのか、避難した方が良いのか、僕の住んでいる所は土砂災害危険区域なのか、そうではないのか、などいろいろな疑問を感じました。そこで、僕の住んでいる富士市では、土砂災害に対してどのような対策をしているのか調べ、感想を述べていきたいと思います。

富士市の土砂災害防止法について、このように書いてありました。土砂災害防止法とは、住民の生命を守るため、土砂災害の恐れのある区域について、危険の周知、警戒避難体制の整備、住宅棟の新規立地の抑制、既存住宅の移転促進等のソフト対策を進めるための法律です。ということでした。土砂災害防止法制定の背景には、住宅地を確保するために、山間部等での宅地開発が進み、それに伴って土砂災害の恐れのある危険な箇所が毎年増加しているそうです。僕はこのような背景があることが、今回調べることで初めて知り、なぜそのような場所に、家を建ててしまうことが、大変疑問に感じました。また、すべての危険区域箇所の安全対策工事には、膨大な時間と費用がかかるため、危険性のある区域を明らかにし、その中で警戒避難体制の整備や危険箇所への新規住宅等の立地抑制等を充実させていくことが大切になると書かれていま

した。そこで、やはり僕の住んでいる所は、危険区域なのか、そうではないのか認識しておく必要があると感じ、ハザードマップを見て調べることにしました。僕の住んでいる所から、歩いて十分程度の場所に、土石流危険区域と、急傾斜地崩壊危険箇所がありました。僕は、こんな身近にあることに驚きました。しかし、このことを知る事で今後、もしも、避難しなければならないとなった場合、その方向には行かないで、どの道を通って行けば安全なのか、わかることができ、大変役に立ちました。夏休みに入って、山口県を集中豪雨が襲い、土砂災害が起り、亡くなられた方や、行方不明になられた方や、川の氾濫で住宅が流されたり、土砂崩れにより孤立した地域ができました。気象庁でも、「これまでに経験したことのないような大雨」と発表し、「直ちに命を守る行動を」と呼びかけていました。しかし、突然そのような事を言われても、いろいろと悩んでしまい大変困ってしまうと思いました。夏休みの間、それ以降も、日本のあちらこちらで大雨による土砂災害が発生しており、こんなにも多く起っていると、いつか僕の住んでいる所にも、同じようなことが起きないか不安になりました。

今回、土砂災害防止について書くことで、ハザードマップにより、自分の住んでいる所は、どのような場所なのか把握することが、自分の身を守る第一歩だと感じました。しかしながら、危険区域なのか、そうではないのか、はっきりしたことがわからないので、危険区域なのか、そうではないのか、はっきりと教えてもらいたいと思いました。また、突然「命を守る行動を」と言われても、どのように行動をとったら良いのか自信がないのに地震の時のように、土砂災害に対する避難訓練などがあると良いのではと感じました。

東海ブロック市町村職員土砂災害対策研修会の開催

1月31日(金)に、(一社)全国治水砂防協会並びに全国治水砂防協会静岡県支部の主催により、東海ブロック市町村職員土砂災害対策研修会を、静岡グランドホテル中島屋(静岡市)で開催しました。

本研修会は、例年(一社)全国治水砂防協会が、国内の各ブロックのうち2ブロック程度で実施しているもので、本年は東海ブロックを代表して本県で開催をしました。

研修会は、静岡県のみならず、岐阜県、愛知県及び三重県の県・市町村職員を対象に、約100名の方々に参加をしていただきました。

静岡県支部長原田袋井市長(桜井河川砂防局技監代読)の開会挨拶の後、国土交通省砂防部保全課酒谷幸彦砂防施設評価分析官からは「最近の砂防行政について」、静岡大学農学部土屋智教授からは「最近の地震と豪雨にともなう大規模土砂災害」、砂防課三谷真史主査からは「土砂災害防止法に関する取り組みについて」、小山町新井昇危機管理監からは「自治体の危機管理への取り組み」と題して、それぞれ講演をしていただきました。



酒谷幸彦砂防施設評価分析官の講演



土屋智教授の講演



新井昇危機管理監の講演



研修会の状況

1. 開会挨拶

静岡県支部長 原田英之袋井市長(代読)

2. 講演

(1)最近の砂防行政について

国土交通省 酒谷幸彦砂防施設評価分析官

(2)最近の地震と豪雨にともなう 大規模土砂災害

静岡大学農学部 土屋智教授

(3)土砂災害防止法に関する 取り組みについて

静岡県交通基盤部砂防課 三谷真史主査

(4)自治体の危機管理への取組

小山町 新井昇危機管理監

3. 閉会挨拶

(一社)全国治水砂防協会 原義文常任参与

河津町

建設課長 稲本敏尚

伊豆半島の南東部に位置する河津町は、天城山を水源とする河津川が流れ、河津七滝や数々の温泉、海水浴場など海と山が織りなす自然に恵まれたまちです。

昭和30年頃、町民が河津川の河原で見つけた桜の苗木を育てたところ、2月に開花する早咲きの珍しい桜であったことが、現在の花を活かしたまちづくりの出発点となりました。この桜は「河津桜」と名づけられ、昭和50年には町の木に指定され、町内各所に植栽されはじめ、現在では8,000本余となりました。平成3年に第1回『河津桜まつり』が開催され、今年は24回目を迎え、2月上旬から3月上旬まで近年では100万人近くの花見客で賑わいます。また、本町はカーネーション、花菖蒲、バラなどの施設園芸が主な産業であったことから、平成13年にはフランスのパリ市と提携したバラ園「河津バガテル公園」、平成15年には「かわづカーネーション見本園」などが開園し、交流人口の増加による産業振興を図っています。

一方、本町は地形的には急峻で河川も急勾配であり、度重なる台風や集中豪雨、地震による土石流、がけ崩れ等により、尊い人命や財産に大きな被害を受けてきた歴史があります。これらに対し、関係各位のご尽力により各種対策事業が実施されてきたことは現在の住民生活の礎となっています。今後も住民の安全で安心な豊かな暮らしを確保するとともに観光客も安心して来遊できるまちづくりを目指すためにも、関係各位のなご一層のご支援、ご協力を願うものです。



河津桜と菜の花



河津桜原木



河津浜温泉夜桜

静岡市

建設政策課

静岡市は昨年、合併による新市誕生から10年目を迎えました。この間には、政令指定都市への移行、由比町、蒲原町との合併を行い、「世界に輝く『静岡』の創造」をテーマにまちづくりを行ってきました。

昨年6月には、羽衣伝説で有名な三保松原が、富士山の世界遺産の構成資産として登録され、現在は、より多くの方々を訪れるように、周辺の整備を進めているところでございます。

また、来年徳川家康薨去から400年を迎える本市では、駿府城公園の坤櫓が4月より公開されます。

これは、巽櫓、東御門につぐ伝統的な建築工法による復元で、静岡へお出かけの際には、ぜひともお立ち寄りください。

さて、本市の砂防についてですが、市域の80%以上を中山間地が占め、また市街地にも賤機山や谷津山などの「山」が存在する中で、土砂災害危険箇所も多く、その数は、県内では最多となる2,713箇所（県全体の約18%）となっております。

平成23年には、台風15号に伴う豪雨により、市内でも多くの急傾斜地が被害を受けましたが、県を始めとする関係各位のご尽力により、早期の復旧を行うことができ、住民ともども、感謝の意を表すところであります。今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



静岡市清水区三保松原



静岡市葵区桂山の急傾斜地施設整備状況 (H23災害)

土砂災害警戒区域の指定に向けた取り組み

土砂災害防止法は土砂災害から住民の生命を守るため、土砂災害のおそれのある区域(土砂災害警戒区域)を指定し、危険の周知・警戒避難体制の整備を行うものです。

県では、土砂災害危険箇所について基礎調査を行い、避難時期やとるべき行動などの防災知識の普及も併せた地元説明会を開催した後に、区域の指定を進めています。

地元説明会は、県の土木事務所と関係市町にて開催しており、平成25年度は全県で133回開催し、延べ3,331人の参加をいただきました。

この取り組みにより、平成25年度は1,644箇所の区域を指定し、平成16年度の区域指定開始からの累計で9,913箇所(65.2%)の区域指定となりました。

国によりますと、全国平均の指定率は61.8%となっています。

本県では総合計画において、平成29年度に15,193箇所の区域指定を目標としていることから、今後も土木事務所や関係市町と連携しながら区域指定の推進を図っていきます。



I N F O R M A T I O N

口坂本地すべり基本計画検討委員会の開催

1月23日(木)に、「口坂本地すべり基本計画検討委員会」を静岡土木事務所で開催しました。

委員会では、静岡市葵区の口坂本地区の地すべり対策における、地すべり機構の解析、今後の対策工計画について、各委員から参考になる助言及び指導をいただきました。今後も必要に応じ検討会を設け、口坂本地すべり対策の効果的な実施を図っていきます。



口坂本地すべり基本計画検討委員会

東海地区直轄砂防事務所長・砂防主管課長会議の開催

1月24日(金)に、東海地区直轄砂防事務所長・砂防主管課長会議を、静岡県男女共同参画センター『あざれあ』(静岡市)で開催しました。

会議には、国土交通省砂防部、中部地方整備局、東海地区の各直轄砂防事務所長、東海地区5県の砂防主管課長が出席されました。

今井砂防計画調整官による「本省からの情報提供」の後、「避難における土砂災害警戒情報の活用促進と発生情報の活用」など、意見交換を行いました。



会議の様子(今井砂防計画調整官挨拶)

静岡県砂防ボランティア協会総会及び研修会の開催

2月5日(水)に、静岡県砂防ボランティア協会の総会及び研修会を、クーポール会館(静岡市)で開催しました。

総会で、大内グリーンベルト作業会をはじめとした平成25年度の活動報告、平成26年度活動予定、全国連絡協議会の状況報告、役員改選及び新規会員紹介の後、八木砂防課長による「静岡県の砂防を取り巻く状況」と題した研修を行いました。



総会の様子

富士山火山防災対策協議会およびシンポジウムが開催される

2月6日(木)に、火山専門家、国、静岡・山梨・神奈川県、市町村等約60の関係機関による「富士山火山防災対策協議会」が富士市の富士市産業交流展示場「ふじさんめッセ」で開催されました。

協議会で検討を進めてきた「富士山火山広域避難計画(案)」が今回の協議会で了承されました。また、「富士山火山三県合同防災訓練2014」を平成26年10月19日に実施することが決定しました。

協議会に引き続き、同会場で「富士山火山防災対策シンポジウム」が開催され、「桜島における火山防災対策」について鹿児島県、鹿児島市から講師を招き講演がありました。また、「富士山の噴火に備える～広域避難計画を踏まえて～」をテーマに火山の専門家等によるパネルディスカッションが行われました。



パネルディスカッションの様子

(一社)全国治水砂防協会各支部事務局員会議が開催される

2月19日(水)に、一般社団法人全国治水砂防協会各支部事務局員会議が砂防会館別館で開催されました。

岡本理事長による挨拶の後、当協会における平成25年度の主要な事業報告、運営事項等について報告がありました。

その後、国土交通省砂防部今井砂防計画調整官から「砂防行政に関する最近の話題」と題し、平成26年度予算決定概要、平成25年度の土砂災害、東京都大島町での土砂災害を契機とする土砂災害対策の強化の検討、土砂災害対策の推進施策及び海外での土砂災害対策の取組等について情報提供がありました。

各支部事務局員にとって、全国治水砂防協会の成り立ち及び砂防行政に関する最新情報等を聞き、理解を深める大変有意義な会議となりました。

第54回砂防および地すべり講習会が開催される

2月20(木)・21日(金)に、「第54回砂防および地すべり防止講習会」が、東京都の砂防会館別館で全国の砂防関係担当者を対象に開催されました。

講習会に先立ち、砂防行政の発展及び砂防技術の向上に多大な功績のあった方々に贈られる赤木賞授与式が行われ、静岡県関係では元砂防課長の棚田博人氏に赤木顕功賞が授与されました。

講習会では、立山カルデラ砂防博物館理事、立山砂防女性サロンの会アドバイザー吉友嘉久子氏の「崩れと生きる人々－立山カルデラの砂防工事が語りかけるもの－」の特別講演をはじめ、大野砂防部長の「安全で豊かな国土と活力ある地域社会の構築に向けて」、高知県四万十町立十川小学校の松岡校長の「防災教育活動について」など、砂防全般にわたった幅広い講演がありました。



棚田氏受賞

2013日・台砂防共同研究会が開催される

2月25日(火)に、台湾から台日砂防共同研究視察団が来静されました。

視察団は、農業委員会水土保持局 黄局長を団長として、学識経験者、行政担当者及び技術者で構成された一行15名で、初めに、浜松土木事務所天竜支局において戸塚支局長から「門島地すべり災害の概要と対応」と題し、災害概要や地すべり発生時の初動対応等について説明を受けた後、門島地すべり対策工事現場を訪れ、崩壊斜面の状況や対策工事を視察されました。



参加された視察団の皆さん(浜松市天竜区春野町杉の門島地すべり対策工事現場)

募集・お知らせコーナー

土砂災害防止に関する絵画・作文の募集

今年度も土砂災害の恐ろしさや土砂災害防止の重要性を伝えるため、絵画・作文を募集します。募集要領については、各小中学校へ送付しますが、下記でもご覧いただけます。

- 【募集対象】 小中学生 【応募期間】 6月1日(日)～9月15日(月)
 【応募方法】 作品には応募者の学校名(ふりがな)、学年、氏名(ふりがな)を明記して下さい。
 【応募先】 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号
 静岡県交通基盤部砂防課 土砂災害対策班
 TEL(054)221-3044 FAX(054)221-3564



詳細は、砂防課ホームページからご覧いただけます。
<http://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-350/index.html>

第7回 親子で大谷崩れの森づくり

日本三大崩れの一つでもある大谷崩。今から300年程前の宝永地震によって崩壊したと言われています。本来の自然を取戻すべく今もなお様々な工法によって緑化が行われています。今回は、この大谷崩にみなさんの手で植樹し、植樹を通じて自然・山・水に触れて「いのちの大切さ」を学ぶことの出来る体験への参加をお待ちしております。

- 【募集人員】 50名 【日時】 平成26年5月25日(日) 9:00～16:00(小雨決行)
 【参加費】 無料(昼食は各自用意して下さい) 【集合】 静岡駅北口 8:45
 【問合せ】 いのちの森づくり静岡少年団を支援する会 TEL(054)246-7767

土木事務所企画班砂防担当者の紹介

県砂防課では、出前講座及び講習会を随時受付けております。

事務所	企画TEL・FAX	担当者
下田	TEL:(0558)24-2113 FAX:(0558)24-2123	碓ひかり 原田太輔
熱海	TEL:(0557)82-9171 FAX:(0557)82-9110	藤島政記
沼津	TEL:(055)920-2212 FAX:(055)922-6684	渡辺壮彦 森田 博
富士	TEL:(0545)65-2794 FAX:(0545)65-2270	外木崇之

事務所	企画TEL・FAX	担当者
静岡	TEL:(054)286-9321 FAX:(054)286-9375	又平 学 池谷幸彦
島田	TEL:(0547)37-5272 FAX:(0547)37-6183	内田賢吾
袋井	TEL:(0538)42-3216 FAX:(0538)42-1782	伊代田尚志
浜松	TEL:(053)458-7266 FAX:(053)458-7193	渥美晃岳 西ヶ谷圭祐



【表紙写真】
富士山本宮浅間大社
 (撮影地:静岡県富士宮市)
 静岡県文化・観光部文化学術局富士山世界遺産課より
 ※砂防協会では表紙に掲載する静岡県内の写真を募集しています。皆様のご協力をお願い申し上げます。詳しくは、下記までお問い合わせ下さい。

編集後記 平成26年度が始まりました。平成25年は全県において土砂災害が発生しておりますが、自分の家が土砂災害警戒区域等に指定されていたことを知っていたために、命を守ることができた方もいらっしゃる。「命を守るために“知る”」とても心に響く言葉です。県民の皆様にも土砂災害ハザードマップ等での危険箇所及び土砂災害の前兆現象の認識、また、土砂災害警戒情報等への理解をより深めていただけるよう、今年度も新しい気持ちで土砂災害防止に対する情報提供に努めてまいりたいと思います。本年度も砂防だよりのご愛読をよろしくお願いいたします。

砂防だよりは砂防課ホームページでご覧いただけます。 <http://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-350/index.html>



第183号 発行日:平成26年4月15日
 編集・発行:全国治水砂防協会静岡県支部
 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 静岡県交通基盤部河川砂防局砂防課内
 TEL(054)221-3044 FAX(054)221-3564 E-mail: sabo@pref.shizuoka.lg.jp